

# Shionogi Business Report

2018年度 第154期 上期 2018年4月1日～2018年9月30日 証券コード：4507

## 株主の皆さまへ

シオノギグループは、2018年3月17日に創業140周年を迎えました。

この記念すべき2018年を株主の皆さまと迎えることができたことは、私たちにとって大きな喜びであります。

次の100年も、またその先もシオノギが創薬型製薬企業として社会とともに成長し続けられるよう、企業価値の向上に取り組んでまいります。



代表取締役会長 塩野元三

代表取締役社長 手代木 功

## 2018年度の取り組み

今期は、さらなる企業価値の最大化に繋がる株主還元施策として、7月30日に「上限500億円の自己株式の取得、および900万株(予定)の自己株式の消却」を発表しております。また、配当金につきましては、今中間期は1株当たり44円となり、6円の増配になります。今後も、株主の皆さまとともにシオノギグループの成長を実感していただけるよう株主還元施策を進めてまいります。

また、国内事業、海外事業、生産性のそれぞれにおいて、以下のような強化・向上策を講じてまいります。

国内事業

国内基盤の強化・再構築と強みの形成

海外事業

グローバルにおけるプレゼンスの強化

生産性

従業員一人当たりの生産性の向上

## パイプラインの状況(2018年10月29日時点)



詳しい開発品状況は、当社ウェブサイトをご参照ください。<http://www.shionogi.co.jp/company/index.html> (開発品一覧へ)

## 新規抗インフルエンザウイルス薬 ゾフルーザ® (2018年3月14日発売)

当社は2018年3月14日に、新規抗インフルエンザウイルス薬ゾフルーザ®を発売しました。ゾフルーザ®は、当社が創製したキャップ依存性エンドヌクレアーゼ阻害薬で、既存の薬剤とは異なる新しい作用機序でインフルエンザウイルスの増殖を抑制します。2015年10月に厚生労働省より「先駆け審査指定制度※」の対象品目に指定されました。

当社は、2017年10月25日に日本で承認申請を行い、4ヵ月後の2018年2月23日に承認を取得しました。さらに、2018年3月14日には薬価収載され、承認申請から半年以内での発売となりました。

※ 先駆け審査指定制度:「日本再興戦略」に基づき、世界に先駆けて開発され、早期の治験段階で著明な有効性が見込まれる医薬品等を指定し、各種支援による早期の実用化を目指す制度

## インフルエンザ市場を変革・牽引する第一選択薬へ

### ゾフルーザ®の特徴

- 服薬指導が容易であり、患者さまのみならず医療従事者の方々の利便性も向上

1回限りの  
経口投与  
で治療が完結

速やかな  
ウイルス減少  
効果

- 24時間以内のウイルス複製・排出停止
- ウイルス伝播抑制効果への期待

プラセボ群と比較して、  
速やかな  
インフルエンザ  
症状の消失

良好な忍容性、  
低い副作用発現率  
(オセルタミビルとの比較)

全く新しい  
作用メカニズム

- CAP依存性エンドヌクレアーゼ阻害薬
- ウイルス増殖サイクルの早期に作用
- オセルタミビル耐性ウイルスや鳥インフルエンザウイルス(H5N1、H7N9)に対する活性

## 社会課題の解決に向けた取り組み

CSR※に対する企業の取り組みがますます求められる中、シオノギグループが革新的な新薬の創出に注力しながら経済、社会、環境に対し企業責任を果たすべく、CSR推進部を2018年4月に新設しました。そしてステークホルダーの皆さまから将来にわたり必要とされる企業となるよう、社会課題の解決に向けた活動に取り組んでいます。

※CSR:企業の社会的責任

## 課題を解決し、社会とともに成長し続け、社会から必要とされる会社を目指す

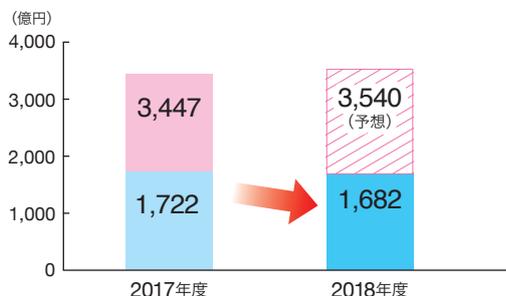


※EHS:Environment, Health and Safety(環境ならびに安全衛生)

# 活動報告

## 2018年度上期業績のポイント

**売上高**  
1,682億円 (前年比 2.3% ↓)



**営業利益**  
573億円 (前年比 2.8% ↑)



**経常利益**  
701億円 (前年比 6.8% ↑)



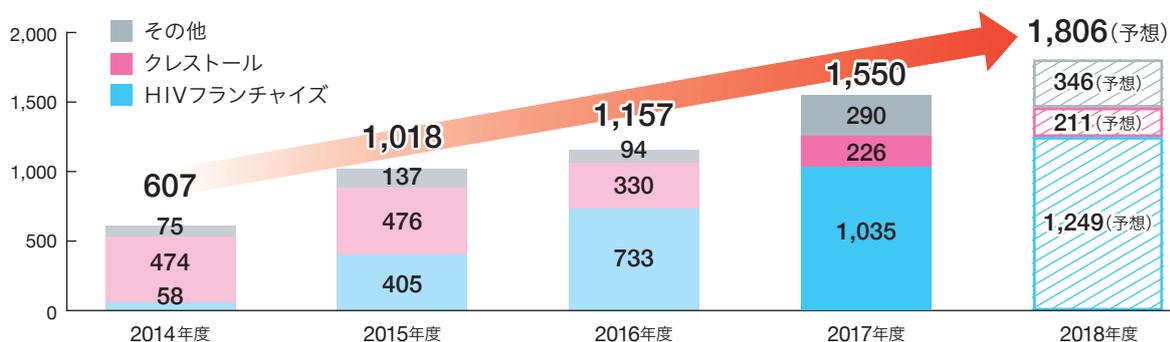
**親会社株主に帰属する四半期純利益**  
579億円 (前年比 15.0% ↑)



■ 通期 ■ 上期

財政状況等その他詳細については、当社ウェブサイトをご参照ください。 <http://www.shionogi.co.jp/ir/library/materials.html>

## HIVフランチャイズの拡大による安定したロイヤリティー収入



## 2018年度通期業績予想の修正

### 2018年度通期連結業績予想

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益
2018年度当初	3,465	1,190	1,400	1,100
2018年度修正	<b>3,540</b>	<b>1,245</b>	<b>1,485</b>	<b>1,185</b>
増減額	75	55	85	85

為替レート (期中平均)	2018年度前提
ドル	105円
ポンド	145円
ユーロ	130円

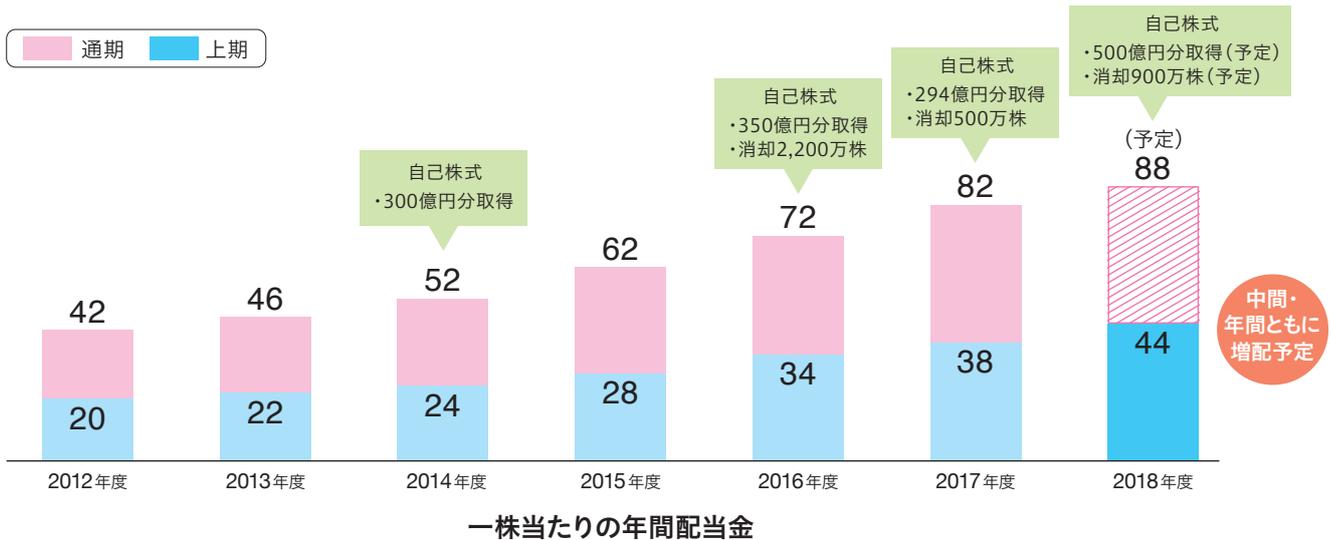
# 株主還元について

## 配当ならびに自己株式の取得・消却

シオノギグループは、事業活動により得られた利益を株主還元、将来に向けた成長投資、戦略的事业投資などにバランス良く配分することを目指しております。また、配当につきましては、株主の皆さまとともに成長を実感いただけますよう、DOE(株主資本配当率)4.0%以上を指標とし、毎年安定的に増配していくことを2020年までの目標としております。

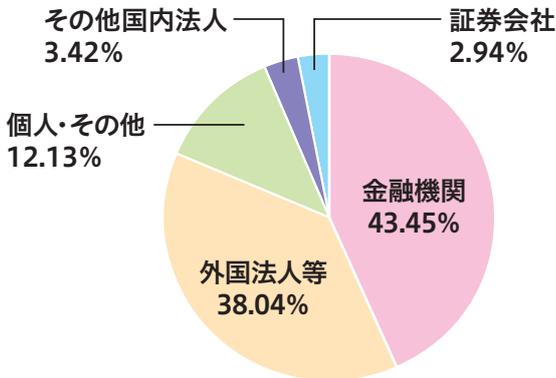
今中間期は、1株当たり44円となり、6円の増配となります。

### 1株当たりの中間配当金 44円



## 株式の状況

- 発行可能株式総数 1,000,000,000株
- 発行済株式の総数 324,136,165株
- 株主数 34,685名
- 所有者別株式分布



(注)所有者別株式分布状況は自己株式を「個人その他」に含めて、表示しております。

## 株主メモ

- ◇事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◇定時株主総会 6月
- ◇基準日 定時株主総会:3月31日 期末配当金:3月31日  
中間配当金:9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- ◇単元株式数 100株
- ◇公告掲載方法 電子公告  
当社インターネットホームページ (<http://www.shionogi.co.jp/ir/announcement.html>) に掲載しています。
- ◇上場証券取引所 東京
- ◇証券コード 4507
- ◇株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 (東京都千代田区丸の内1丁目4番1号)
- ◇株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
事務取扱場所 (郵便物送付先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
(電話照会先) ☎0120-782-031  
(インターネットホームページ) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### ＜株式事務手続のご案内＞

- ◆住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお届出およびご照会先

証券会社等の振替口座で保有されている株式に関する手続	株主様が口座を開設されている証券会社等
特別口座に記録された株式に関する手続	当社が特別口座を開設している三井住友信託銀行 (ご照会先は上記の電話照会先をお願いいたします。)



〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号  
<http://www.shionogi.co.jp/>

